令和５年度第２回伊勢原市子ども・子育て会議　議事録概要

１　日　時　令和６年２月１９日（月）　午後１時３０分から午後２時５５分まで

２　場　所　伊勢原市役所　２C 会議室

３　出席者　佐伯会長、萩原副会長、板倉委員、岩﨑委員、小山委員、井田委員、安武委員、大田委員、古木委員、菅野委員、事務局（子ども部　髙梨部長、子育て支援課　山田参事兼課長、子ども家庭相談課　小瀬村課長、子ども育成課　宮川課長、金子係長、石津）

４　欠席者　今井委員、魚見委員、青木委員

５　傍聴人　なし

６　議事概要

－１　開会

－２　あいさつ

－３　議題

(1) 第２期伊勢原市子ども・子育て支援事業計画の令和４年度実績について

○　令和４年度の「教育・保育の量の見込みと確保量」、「地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保量」、「個別事業評価（１２９事業)」について、資料１～３により説明。

（事務局）

＜教育・保育の量の見込みと確保量＞

・　令和４年度の計画値と実績値の比較について、申込数は、２号を除いて、計画を下回る結果となった。また、確保量は、分園の設置や利用定員の増加、実態に合わせた利用定員の減少、閉園に向けた段階的な利用定員の引き下げにより、計画を下回る結果となった。

＜地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保量＞

・　利用者支援事業や一時預かり事業等の１３事業について、各所管課から各事業の実績を報告した。

＜個別事業評価（１２９事業）＞

(事務局)

・　計画どおり進捗できたかについて、A評価が９９個で全体の７６．７％、B評価が２７個で全体の２１．０％、C評価が３個で全体の２．３％という結果となった。

・　新型コロナウイルス感染症への対応については、適切な感染対策を図って実施したほか、一部事業では動画公開やライブ配信等のオンラインを活用して実施した。

【質疑応答】

(委員)

・　「利用者支援事業（基本型)」について、令和４年度の件数が減少しているとのことであるが、相談内容を分析することで、どのような部分に力を入れていくべきかが分かってくるのではないか。また、オンライン相談を活用しているが、加えて、対面で話すということも大事ではないかと考える。

（事務局）

・　今後、内容の分析をしながら、どのように事業を展開していくべきかを検討するとともに、オンライン相談については、その後、対面で会える場合は、しっかりと話を聞きたいと考える。

（委員）

・　「５歳児すこやか健康相談」について、通所していない児童等を対象にスクリーニング調査を実施したということであるが、実績の対象者数はどのような方を選んで実施しているのか。

（事務局）

・　保育所等に通所していない子どものほか、３歳児健診で引き続き観察が必要な子どもや、健康相談で課題のあった家庭に送付して実施しているため、この数値となっている。

(3) 令和６年度利用定員の設定・変更について

○　令和６年度の利用定員について、資料４～６により説明。

（事務局）

・　認定こども園１園について、令和７年度末で閉園することから、令和６年度は新規の受入れを停止し、４・５歳についても減少する予定であるが、現在、利用中の園児は卒園まで在籍できる。

(4) 条例改正について

○　市条例の改正について、資料７により説明。

（事務局）

・　国基準である「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準」が一部改正され、令和５年１２月２６日付けで施行されたことに伴い、「伊勢原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例」（以下「市条例」という）の一部改正を行う予定である。

－５　その他

・　第３期計画計画の策定の基礎資料とする、「伊勢原市の子ども・子育てに関する調査」については、３月初旬から下旬の期間で、インターネット回答及び郵送回答により実施することから、アンケート結果の報告は、令和６年度の会議で報告する。

－６　閉会（午後２時５５分）